年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　芸術Ⅰ　　科目　音楽Ⅰ

教　科：　芸術Ⅰ　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　11 組～　17 組

使用教科書：（　MOUSA1／教育芸術社　）

教科　芸術Ⅰ　　の目標：　豊かな表現力を身に付ける。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けている

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造しようとしている

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽の曲想や構造が文化的・歴史的背景とどの様に関わっているか理解している。 ・音楽表現に必要な基礎知識と能力を身に付け、自らの演奏活動に創意工夫を加え生かしている。	音楽を形づくっている諸要素を理解し、それらの働きを感受しながら演奏できる。そしてどの様に表現するか考え、評価をしながら音楽のもつ美しさや良さを追究している。	自身が表現したいことを音楽にどのように反映させるか創意工夫を加えながら試行し、意欲的に演奏活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声などの技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が表現したいことを音楽にどのように反映させるか創意工夫を加えながら試行し、意欲的に演奏活動に取り組もうとする。	・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける。 ・「鼻」「校歌」「合唱曲」の歌唱を通し、表現に必要な諸要素を確認する。 ・歌ったり互いに聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。	○			○	【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声を工夫している。 ・創意工夫を生かした表現をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色・リズム・旋律などを曲の構成要素を知覚し、感受しながら歌っている。 ・意図をもって歌っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	B 器楽 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声などの技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 音程やリズムとの関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が表現したいことを音楽にどのように反映させるか創意工夫を加えながら試行し、意欲的に演奏活動に取り組もうとする。	・ボディパーカッションを行う。複数のパートに分かれてアンサンブルを行う。 ・グループに分かれて曲のアレンジを行い個々やグループごとに表現方法に工夫を加える。 ・発表を通し、人前で演奏する表現力を身に付ける。 ・他のグループ演奏を聴き、表現力の多様性を理解すると共に、自らの表現に生かすことが出来る。		○			【知識及び技能】 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付け、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律を知覚し、表現の意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と手拍子や足踏みなど音色と奏法との関わり、他者との調和を意識して演奏することに興味をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2学期	A 歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声などの技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が表現したいことを音楽にどのように反映させるか創意工夫を加えながら試行し、意欲的に演奏活動に取り組もうとする。	・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける。 ・「野ばら」「混声4部合唱曲」の歌唱を通し、表現に必要な諸要素を確認する。 ・歌ったり互いに聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。	○			○	【知識及び技能】 ・曲にふさわしい発声を工夫している。 ・創意工夫を生かした表現をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色・リズム・旋律などを曲の構成要素を知覚し、感受しながら歌っている。 ・意図をもって歌っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	B 器楽 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声などの技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音程やリズムとの関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が表現したいことを音楽にどのように反映させるか創意工夫を加えながら試行し、意欲的に演奏活動に取り組もうとする。	・器楽合奏を行う。複数のパートに分かれてアンサンブルを行う。 ・グループに分かれて曲のアレンジを行い個々やグループごとに表現方法に工夫を加える。 ・発表を通し、人前で演奏する表現力を身に付ける。 ・他のグループ演奏を聴き、表現力の多様性を理解すると共に、自らの表現に生かすことが出来る。	○			○	【知識及び技能】 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付け、表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、速度、旋律を知覚し、表現の意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と手拍子や足踏みなど音色と奏法との関わり、他者との調和を意識して演奏することに興味をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	C 鑑賞 【知識及び技能】 音楽を構成する諸要素を感じながら鑑賞する。 【思考力、判断力、表現力等】 感受した音楽の諸要素の目的や効果について自分なりの分析をする。 【学びに向かう力、人間性等】 作曲者の意図を感じ取りながら曲を聴く。演奏楽器や編成についても分析する。	・古典派の楽曲、組曲など鑑賞し、それぞれの特徴を学ぶ。 ・様々な楽器の音色を聴き比べ、それぞれどの様な特徴があるのか考えてみる。 ・鑑賞するごとに、感じ取る音楽の諸要素について自分なりの感想・意見をもつことが出来る。				○	【知識及び技能】 ・諸音楽の特徴と文化・歴史的背景との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音色、リズム、テクスチュアなどの構成を知覚し、それらの働きを感受しながら鑑賞している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・曲想と演奏楽器との関わりに興味をもっていることに注目しながら聴こうとしている。 ・音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞に取り組もうとしている。	○	○	○	17 合計 70